

JOMF 派遣医師便り (2019. 9)

◆シンガポール◆

PSI、3年ぶりに100 越え

シンガポール日本人会クリニック

日暮 浩実

9月に入りシンガポールでもヘイズ(煙害)が濃くなってきた。その程度を示す PSI (Pollutant Standards Index) が3年ぶりに100を超えた。PSIは50以下が healthy、50を超え100までが moderate とされる。ここまでは特に屋外活動に注意はない。しかし、100を超えると unhealthy に区分され、屋外での長時間または激しい運動は控えることがアドバイスされる。

また、さらに小さな粒子状物質の指標である PM2.5 の濃度も9月14日には1時間毎の値で $185 \mu\text{g}/\text{m}^3$ と非常に高い値を記録した。ちなみに同時期の東京の PM2.5 の濃度は概ね $10 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 程度で大きな違いが認められる。ただ、PM2.5 は同じ日でも時間帯により、数値が10倍ぐらいは上下するため、1時間毎最高値だけで評価することは誤解を産みかねないことには注意したい。同日の東京でも一時的に $100 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 程度になっていた。参考までに日本の環境基準は $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下である。シンガポールでは $55 \mu\text{g}/\text{m}^3$ までが band1 であるので、これが日本で言うところの環境基準に当たると考えて良いだろう。日本に比べ緩い基準にしているところに地域の事情が伺える。

ヘイズの原因は人工的森林火災である。火災箇所は人工衛星からいわゆる hot spot として見ることができ、スマトラ島、カリマンタン島で3,600箇所以上数えられるとのことだ。それらからの煙が、南東の風に乗ってシンガポールにやってくるのである。当然、この地域の国際問題になっているのだが、なかなか解決策は見出せていない。

ともかくも、個人としては、屋外での活動を控えたり、必要に応じてマスクの着用などの工夫をしていくしかなさそうだ。雨季が来るまであと一カ月以上、しばらくは耐え忍ぶしかないだろう。